連絡事項

自ら学び続ける教職員のために
令和７年度研修事業一覧

令和７年３月１７日

「千葉県・千葉市教員等育成指標」の位置づけ

表中の「ステージ」「構成要素」には、「千葉県・千葉市教員等育成指標」の３つのステージ及び柱と構成要素を位置づけています。
また、令和４年から「校長」の育成指標を新たに策定するとともに「教員」の育成指標を改訂しました。令和５年８月、「養護教諭」「栄養教諭」「幼稚園等教諭」「園長」の育成指標を策定しました。
以下の説明を参照してください。

○ステージについて
Ⅰ（成長期）　学級・教科担任等としての自覚と資質能力の向上
Ⅱ（発展期）　ミドルリーダーとしての自覚と資質能力の向上
Ⅲ（充実期）　チーム学校をリードする自覚と資質能力の向上

○構成要素について

教員	六つの柱	１９の構成要素
校長	四つの柱	１５の構成要素
養護教諭	六つの柱	１９の構成要素
栄養教諭	六つの柱	１９の構成要素
幼稚園等教諭	五つの柱	１８の構成要素
園長	四つの柱	１５の構成要素

詳細は、以下のURLからご確認ください。

https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/shihyou/shihyou.html

研修の準備について、年度当初（４月）に確認すること

令和７年度の研修を受講するにあたり、以下について４月当初に各学校で準備・確認をしていただき、必ず校内で情報を共有してください。

１　令和７年度の悉皆研修・推薦・希望研修の該当者の確認
※休暇や前年度の欠席等で、本年度対象者となっている方もいます。注意してください。

２　対象者がいる研修の資料をダウンロードと共有
【県総合教育センターホームページからダウンロードするもの】
（1）**「研修の手引」**（研修ごとにあります　※悉皆研修のみ）　（2）それぞれの研修の**「実施要項」**
【資料を共有する人】
（1）研修受講者　（2）管理職　（3）初任者研修校内・校外指導教員

３　日程の確認
(1)研修日の確認
①校内外の行事等と研修日が重なっていないか確認する。
※研修日が複数記載されている研修については、県総合教育センター又は子どもと親のサポートセンターの研修担当が割り振り研修日までに「履歴システム」を通じ連絡します。
予め研修日を希望することはできません。
どの日程になっても参加できるようにしてください。
②研修に参加できるように行事を調整する。
重なってしまっている場合は、悉皆研修が優先となります。
③行事の引率等、調整が困難な場合は、４月中に市町村教育委員会を通して連絡する。（高等学校、特別支援学校は千葉県総合教育センターへ直接連絡する。）
※研修の失念を防ぐために、月行事予定表の出張者欄等に記載するようお願いします。
(2)課題提出日の確認
①管理職の指導を受けてから提出できるよう、校内締切日を決める。
②提出間違いのないよう、提出方法や提出場所を複数で確認してから送付する。



研修事業について

○　それぞれの研修事業への申込みは、「研修申込みの手引」に基づき、所定の期日までに個人で行うことを原則とします。

○　記載内容は、令和７年３月１７日現在のものです。都合により、期日や内容等が変更になる場合があります。

○　研修会場については、複数会場や日にちが異なる場合がありますので、必ず各研修事業の実施要項をご確認ください。

○　緊急時における研修事業の予定変更等は、千葉県総合教育センターまたは千葉県子どもと親のサポートセンターWeb サイトでお知らせします。

○　申込んだ研修がすべて「可」になっても受講できるよう、重複などがないように申込みをしてください。（希望研修）

○　可否確認期間に、個人で必ず可否確認をしてください。

千葉県総合教育センター
千葉県子どもと親のサポートセンター

連絡事項

自ら学び続ける教職員のために
令和７年度研修事業一覧

令和７年３月１７日

悉皆研修の申込み

○　悉皆研修の申込み期間は、「研修申込みの手引」をご覧ください。

○　一部の研修では、別途必要事項の入力を要するものがあります。

別途必要事項（備考）の入力を要する研修については、「研修申込みの手引」をご覧ください。

○　研修を受講するにあたって手話通訳等、特別な配慮が必要な場合には、申込み時に各研修事業の備考欄に入力してください。

○　文書申込み等の送付アドレスについては、千葉県総合教育センターホームページにある各種様式をご覧ください。

推薦研修の申込み

○　推薦研修の申込み期間、対象となる研修については、「研修申込みの手引」をご覧ください。

○　一部の研修では、別途必要事項の入力を要するものがあります。

別途必要事項（備考）の入力を要する研修については、「研修申込みの手引」をご覧ください。

○　研修を受講するにあたって手話通訳等、特別な配慮が必要な場合には、申込み時に各研修事業の備考欄に入力してください。

○　文書申込み等の送付アドレスについては、千葉県総合教育センターホームページにある各種様式をご覧ください。

○　研修対象者は、県総合教育センター所長または県子どもと親のサポートセンター所長が認めた者となります。

希望研修の申込み

○　希望研修の申込み期間は、「研修申込みの手引」をご覧ください。

○　一部の研修では、別途必要事項の入力を要するものがあります。

別途必要事項（備考）の入力を要する研修については、「研修申込みの手引」をご覧ください。

○　研修を受講するにあたって手話通訳等、特別な配慮が必要な場合には、申込み時に各研修事業の備考欄に入力してください。

○　文書申込み等の送付アドレスについては、千葉県総合教育センターホームページにある各種様式をご覧ください。

○　研修対象者は、県総合教育センター所長または県子どもと親のサポートセンター所長が認めた者となります。

千葉県総合教育センター
千葉県子どもと親のサポートセンター

No. １幼児教育

自ら学び続ける教職員のために
令和７年度研修事業一覧

令和７年３月１７日現在

○研修種別：悉皆研修

１　初任者・経験者研修（悉皆）　①研修企画部が担当する研修　（問合せ先　043－276－1345･1292）

事業番号	研修名	研修対象	育成指標 校・園	育成指標 教	育成指標 養	育成指標 栄	育成指標 幼	ステージ	育成指標の柱	研修概要（目的・内容）	研修形態	予定人数	日数	研修日	研修場所	申込み方法
1010101	幼稚園教諭等初任者研修	「令和７年度幼稚園教諭等初任者研修実施要項」において定めた新任教員					○	Ⅰ	A　教職に必要な素養 B　保育に関する実践的指導力 C　チーム学校を支える資質能力 D　特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応 E　ＩＣＴや情報・教育データの利活用等	共通研修：千葉県の教育の現況と展望、教職員としての使命感、幼児虐待への対応、教職員のメンタルヘルス、異校種交流　等 校種別研修：保育環境、５領域のねらい、幼保小の接続、食育、障害のある幼児の理解、自然科学、保育参観、文書等の取扱い等 選択研修：社会奉仕体験又は異業種体験等	参集 オン その他	200	10	詳細は「初任者研修の手引」を参照		履歴システム 文書
1110131	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（幼稚園教諭等） 【平成２８年～平成３０年度採用】 ※平成２７年度以前の採用者で本研修を受講していない者も含む	(1)採用から８・９・10年目の国公立幼稚園・公立幼保連携型認定こども園の教諭等 (2)採用から８・９・10年目の私立幼稚園・私立幼保連携型認定こども園の教諭等で、当該園長から申し出のあった者					○	Ⅱ	A　教職に必要な素養 B　保育に関する実践的指導力 C　チーム学校を支える資質能力 D　特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応 E　ICTや情報・教育データの利活用等	幼児教育の発達や学びの特性を踏まえた幼児教育に関する専門的な力量向上や積極的に園務推進に参加するために必要な事項に関する実践的な研修	参集 オン ライン	40	6	詳細は「中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（幼稚園等教諭）の手引」を参照		履歴システム 文書
1110138	専門研修（幼稚園教諭等） 【平成８・９年度採用】 ※平成７年度以前の採用者で本研修を受講していない者も含む	(1)採用から29・30年目の公立幼稚園・公立幼保連携型認定こども園の教諭等 (2)採用から29・30年目の私立幼稚園・私立幼保連携型認定こども園の教諭等で、当該園長から申し出のあった者					○	Ⅲ	A　教職に必要な素養 B　保育に関する実践的指導力 C　チーム学校を支える資質能力 D　特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応 E　ICTや情報・教育データの利活用等	チーム学校を推進する方策の実際、新たな教育課題についての研修　等	参集 オン その他	10	2	詳細は「専門研修（共通）の手引」を参照		履歴システム

○研修種別：推薦研修

１　経営･一般･経験者研修（推薦）　①研修企画部が担当する研修　（問合せ先　043－276－1345･1292）

事業番号	研修名	研修対象	育成指標 校・園	育成指標 教	育成指標 養	育成指標 栄	育成指標 幼	ステージ	育成指標の柱	研修概要（目的・内容）	研修形態	予定人数	日数	研修日	研修場所	申込み方法
1020101	園長等運営管理研修	幼児教育において管理的立場や園の中心的役割のある公私立幼稚園・認定こども園・保育園の園長・副園長・教頭・主任等	○				○	Ⅱ Ⅲ	【園長】 A　園長に必要な素養 B　園のビジョンの構築・提示 C　一人一人の強みを生かしたチーム学校の実現 【幼稚園等教諭】 A　教職に必要な素養 B　保育に関する実践的指導力 C　チーム学校を支える資質能力	特色ある教育活動の推進や喫緊の教育課題に組織的に対応する等、適切な園の運営を推進するための専門的・実践的な研修	参集	40	2	5/28 11/12又は 11/13	千葉大学教育学部附属幼稚園 県内私立幼稚園	履歴システム 文書
1020102	保育技術研修	幼稚園・認定こども園・保育園等において保育技術の向上を目指す中堅教員等					○	Ⅰ Ⅱ	A　教職に必要な素養 B　保育に関する実践的指導力 C　チーム学校を支える資質能力 D　特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応	園の教育課程、その他の保育内容の実践にあたって必要な事項に関する専門的・実践的な研修	参集	45	2	7/22 11/21	県総合教育センター	履歴システム 文書
1025103	幼児教育アドバイザー育成研修	県内各市町村の行政担当者、幼稚園、こども園、保育所、小・義務教育学校、特別支援学校の幼児教育のリーダー及び教育事務所の担当指導主事等	○	○			○	Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 B　学習指導に関する実践的指導力 C　生徒指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	幼児教育の更なる質の充実を図るため、各市町村における幼児教育の推進体制構築に向けて、実践面・運営面における市町村リーダーの育成を目指す研修	参集	90	2	7/29 8/25	県総合教育センター	履歴システム 文書

２　教科・領域等・キャリア（推薦）　①研修企画部が担当する研修　（問合せ先　043－276－1345･1292）

事業番号	研修名	研修対象	育成指標 校・園	育成指標 教	育成指標 養	育成指標 栄	育成指標 幼	ステージ	育成指標の柱	研修概要（目的・内容）	研修形態	予定人数	日数	研修日	研修場所	申込み方法
1021904	スマイル先生！円滑な接続のための幼児教育研修	経験年数２～７年目程度の幼稚園、こども園、保育園の教諭・保育教諭・保育士、小学校、特別支援学校の教諭		○			○	Ⅰ	B　学習指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力	幼児期後期から小学校前期に係る幼児・児童理解と援助の在り方を学ぶことで、指導技術の向上を目指すとともに、幼保小の接続の観点から幼児・児童教育について学ぶことを目的とした研修	参集	90	1	8/18	県総合教育センター	履歴システム 文書

○研修種別：希望研修

１　メディア教育（希望）　①研修企画部（情報活用支援班）が担当する研修　（問合せ先　043－212－7220）

事業番号	研修名	研修対象	育成指標 校・園	育成指標 教	育成指標 養	育成指標 栄	育成指標 幼	ステージ	育成指標の柱	研修概要（目的・内容）	研修形態	予定人数	日数	研修日	研修場所	申込み方法
1233103	Microsoft Teams活用研修　基礎編	Microsoft Teamsの基礎的な内容について習得し、授業実践や校務処理等への活用を図りたい幼・小・中・義務教育・高等学校・中等教育・特別支援学校の教員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	A　教職に必要な素養 F　ICTや情報・教育データの利活用等	ICT教育でのこれからの学びのあり方への知見を深めるとともに、Microsoft Teamsの基礎的な内容を通して授業や校務処理での活用する力の向上を図る研修	参集	72	1	7/30	県総合教育センター	履歴システム
1233104	Microsoft Teams活用研修　実践編	Microsoft Teamsを活用した授業実践や校務処理等の改善を図りたい幼・小・中・義務教育・高等学校・中等教育・特別支援学校の教員で、Microsoft OneNote Class Notebook、Power Automateの具体的な活用について、知識、技能の向上を図りたい教員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	A　教職に必要な素養 F　ICTや情報・教育データの利活用等	PCとクラウド技術を結びつけて運用することにより、Microsoft Teamsによる連携や、Microsoft OneNote Class Notebook、Power Automateの具体的な活用について、知識、技能の向上を図りネットワークを活用した授業実践力の向上及び校務処理の効率化を図る能力を育成する研修	参集	72	1	8/5	県総合教育センター	履歴システム
1233105	Google Workspace活用研修	学校にChromebookかiPadが整備されており、Google Workspaceを活用した授業実践や校務処理等の改善を図りたい幼・小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校(小・中学部)の教員（定員に余裕がある場合は高等学校、特別支援学校高等部の教員を受け入れる）		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	A　教職に必要な素養 F　ICTや情報・教育データの利活用等	情報端末とGoogle Workspaceを用いて、ICTを活用した授業実践力の向上及び校務処理の効率化を図る能力を育成する研修	参集	36	1	7/25	県総合教育センター	履歴システム
1236310	iPad授業動画活用研修	幼児教育・学校教育・社会教育・行政関係者で、iPadの基本操作ができ、iPadを使った授業動画の作成と活用に興味がある者	○	○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 C　一人一人の強みを生かしたチーム学校の実現 F　ICTや情報・教育データの利活用等	iPadを活用して、授業で活用できる動画や家庭学習で活用できる動画の撮影・編集・実践を通して、ICT活用の実践力を高める研修	参集	36	2	7/31・8/21	県総合教育センター	履歴システム
1236311	表計算基礎研修１組	幼・小・中・義務教育・中等教育・高等・特別支援学校の教職員で、コンピュータの基本操作ができ、校務処理での活用を図る者		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	F　ICTや情報・教育データの利活用等	表計算ソフト(Excel)の実技研修をとおしてICTを活用できる教職員の育成を図る研修	参集	40	1	7/23	県総合教育センター	履歴システム
1236312	表計算基礎研修２組										参集	40	1	7/25	県総合教育センター	履歴システム
1236313	表計算基礎研修３組										参集	40	1	7/28	県総合教育センター	履歴システム
1236314	表計算基礎研修４組										参集	40	1	7/30	県総合教育センター	履歴システム
1236315	表計算応用研修１組	「表計算基礎」の受講者または、Excelの基本的な操作VLOOKUP・HLOOKUPの使い方、絶対参照の意味、グラフの作成方法を理解している者で、事前にテキスト第1章を自己研修できる、幼稚園・小・中・義務教育・高等・特別支援学校の教職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	F　ICTや情報・教育データの利活用等	表計算ソフト(Excel)の実技研修をとおし、コンピュータを用いた集計処理の方法についての応用的知識を習得し、校務処理効率化とデータ活用のための能力を養成する研修	参集	40	1	7/31	県総合教育センター	履歴システム
1236316	表計算応用研修２組										参集	40	1	8/5	県総合教育センター	履歴システム
1236317	情報モラル指導実践研修～デジタルシティズンシップ教育へ～	幼児教育・学校教育・社会教育・行政関係者で、デジタルシティズンシップ教育の実践力を高めたい者	○	○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 C　生徒指導に関する実践的指導力 F　ICTや情報・教育データの利活用等	デジタルシティズンシップの考え方を学び、自校や家庭で子供たちに指導する能力を養う研修	参集	36	1	8/8	県総合教育センター	履歴システム
1236318	情報セキュリティ研修	幼児教育・学校教育・社会教育・行政関係者で、情報セキュリティに興味がある者。インターネット環境が整っており、ｅラーニングコンテンツ全ての視聴を完了する意思のある者	○	○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 F　ICTや情報・教育データの利活用等	「情報セキュリティ」について、基礎的な知識やトラブル事例を学び、情報モラル教育に関する実践的指導力を高めるとともに、公務における適切なICT活用に対する理解を深める研修	オン ライン	80	1	令和7年6月から9月の任意の日（ｅラーニング）	県総合教育センター	履歴システム

２　現代的教育課題（希望）　①研修企画部が担当する研修　（問合せ先　043－276－1345･1292）

事業番号	研修名	研修対象	育成指標 校・園	育成指標 教	育成指標 養	育成指標 栄	育成指標 幼	ステージ	育成指標の柱	研修概要（目的・内容）	研修形態	予定人数	日数	研修日	研修場所	申込み方法
1035102	幼保小の架け橋プログラム研修	保育園、幼稚園、こども園、小学校・義務教育学校、特別支援学校の教諭等 市町村教育委員会、市町村幼児教育の担当者		○			○	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	B　学習指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力	幼保小の架け橋期に育成する資質・能力と教育のつながりを理解するとともに、実践的な研修を通して架け橋期の幼児教育の指導実践力の育成を図る研修	参集	60	1	8/8	県総合教育センター	履歴システム 文書
1133122	保護者とのよりよい関係づくり基礎研修	幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教員		○			○	Ⅰ	D　チーム学校を支える資質能力	保護者等からの学校や教員に対する意見や要望等に対応する際に必要な資質及び実践力を身に付ける研修	参集	200	2	6/27・6/30	県総合教育センター	履歴システム 文書

千葉県総合教育センター
千葉県子どもと親のサポートセンター

自ら学び続ける教職員のために
令和７年度研修事業一覧

令和７年３月１７日現在

３　特別支援教育（希望）①特別支援教育部が担当する研修（問合せ先　043－207－6023）

事業番号	研修名	研修対象	育成指標 校・園	育成指標 教	育成指標 養	育成指標 栄	育成指標 幼	ステージ	育成指標の柱	研修概要（目的・内容）	研修形態	予定人数	日数	研修日	研修場所	申込み方法
1536301	視覚障害教育の理解と指導研修－見えない・見えにくい子の指導の実際－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	B　学習指導に関する実践的指導力 C　生徒指導等に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	視覚障害のある幼児児童生徒の障害特性や心理の理解と教科指導における実践における配慮点や支援に関する指導の在り方について学び、資質及び実践的指導力の向上を図る研修	参集	40	1	8/22	県立千葉盲学校	履歴システム
1536302	聴覚障害教育の理解と指導研修－聞こえない・聞こえにくい子の指導の実際－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	B　学習指導に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	聴覚障害のある幼児児童生徒の指導について、自立活動の指導における配慮点、通級による指導の実際、重複障害がある幼児児童生徒の指導の実際について、理論と事例を通して学ぶ研修	参集	30	1	8/22	県子どもと親のサポートセンター	履歴システム
1536303	知的障害教育の理解と指導研修－性に関する指導の在り方－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	B　学習指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	知的障害のある幼児児童生徒の性に関する指導の在り方について、知識と実際の指導を学び、資質及び実践的指導力の向上を図る研修	オンライン	約70	1	8/20	Zoomによるオンライン研修	履歴システム
1536304	知的障害のある自閉症教育の理解と指導研修	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	知的障害と自閉症を併せ有する幼児児童生徒の行動特性及び認知面を中心とした、効果的な指導法についての専門的な知識を深める研修	参集	120	1	7/22	県総合教育センター	履歴システム
1536305	肢体不自由教育の理解と指導研修	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	B　学習指導に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	肢体不自由のある幼児児童生徒の障害特性を理解し、学校等での学習や生活における、指導や支援についての基礎的な知識・技能の習得を図る研修	参集	50	1	8/6	県総合スポーツセンター	履歴システム
1536306	言語障害教育の理解と指導研修	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員のうち、言語障害教育に携わる者及び、今後携わることを希望している者		○	○	○	○	Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 B　学習指導に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応 F　ICTや情報・教育データの利活用等	吃音のある幼児児童生徒及び構音障害がある幼児児童生徒に対する理解や指導支援の方法について、講話や演習を通して学ぶ研修	参集	40	1	8/5	県総合教育センター	履歴システム
1536307	ICTを活用した特別支援教育研修－病気療養の子の遠隔教育の実際－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	B　学習指導に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応 F　ICTや情報・教育データの利活用等	ICTの利活用における、遠隔教育の実践について学び、入院生活を送りながら学ぶ幼児児童生徒の学習の充実を図るために必要な知識及び、ICTを活用した病弱・虚弱教育についての資質及び指導力向上を図る研修	参集	30	1	8/4	県総合教育センター	履歴システム
1536308	特別支援教育専門研修①－発達障害のある子の理解とWISC-Ⅳの結果を踏まえた支援－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	C　生徒指導等に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	発達障害についての基礎知識を学び、検査結果（WISC-Ⅳ）を踏まえた支援を習得するとともに、アセスメントの基礎を習得し、教育相談の事例に対応できる実践的指導力の向上を図る研修	参集	150	1	8/6	県総合教育センター	履歴システム
1536309	特別支援教育専門研修②－WISC-Ⅴの結果を基に考える具体的な支援－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅱ	E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	WISC-Ⅴの理論的背景、検査結果の解釈の進め方についての理解を図るとともに、様々な事例を基に具体的な指導・支援の在り方について理解を深める研修	参集	60	2	8/4・8/5	県総合教育センター	履歴システム
1536310	特別支援教育専門研修③－読み書きスクリーニング検査(STRAW-R)実施法－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅱ Ⅲ	E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	読み書きスクリーニング検査(STRAW-R)の実施に向け理論を学ぶとともに、演習を通して専門的な知識・技能等を習得する研修	参集	48	1	7/29	県総合教育センター	履歴システム
1536311	特別支援教育専門研修④－KABC-Ⅱ等の結果を基に考える、子供の認知スタイルに合わせた具体的な支援－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	C　生徒指導等に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	心理検査等の結果を適切に読み取り、日常のアセスメントと合わせて幼児児童生徒の実態把握を行い、教育的支援に生かすことのできる力を養うために、KABC-Ⅱを中心とした諸検査の基本的な特徴とその解釈、及び幼児児童生徒の認知処理スタイルと適した指導方略を学ぶ研修	参集	100	1	8/20	県総合教育センター	履歴システム
1536312	特別支援教育専門研修⑤－合理的配慮の充実と連携の在り方－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅱ Ⅲ	C　生徒指導等に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	発達障害等のある幼児児童生徒についての専門的知識を深めるとともに、合理的配慮の充実や各連携機関との連携の進め方に対応できる実践的指導力の向上を図る研修	参集	54	1	7/22	県総合教育センター	履歴システム
1536313	特別支援教育専門研修⑥－教育相談を生かした子と家族への支援－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	C　生徒指導等に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒や保護者に対して教育相談担当として関わる際に必要な知識・技能等を習得する研修	参集	120	1	8/4	県総合教育センター	履歴システム
1536317	肢体不自由のある子の国語・算数（数学）の指導研修－発達に遅れがある子へも活用可能なアプローチ－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	B　学習指導に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	肢体不自由のある子の国語につながる言葉の育ちについての概念や、算数（数学）につながる認知の力を育てるための指導の理論や方法を学び、授業に生かすための実践的な指導力の向上を図る研修	参集	40	1	7/30	県総合教育センター	履歴システム
1533519	発達障害のある子の指導研修②－姿勢の保持が苦手・じっとしていられない・不器用さのある子の指導－１組	幼稚園等、小学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	発達障害のある幼児児童生徒の教育について基礎的な知識をもつ方を対象に、発達障害のある幼児児童生徒（LD・ADHD・ASD等）の困難さについて、感覚統合の観点から専門的な知識を習得し、教員としての実践的指導力の向上を図る研修	参集	80	1	7/25	県総合スポーツセンター	履歴システム
1536324	自立活動研修②－摂食指導「おいしく、楽しく、安全に食べる」ための理論と実際－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	摂食機能に障害のある幼児児童生徒が安全に楽しく食事ができるように、摂食指導に関する理論と指導法の実際を学び、支援者としての資質及び指導力の向上を図る研修	参集	50	2	7/28・7/29	県総合教育センター	履歴システム
1536325	自立活動研修③－肢体不自由のある子が外界に働きかける力を高めることができるAACの活用法－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	A　教職に必要な素養 B　学習指導に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応 F　ICTや情報・教育データの利活用等	肢体不自由や重度重複障害のある幼児児童生徒が外界へ働きかける力をつけるためのAAC（拡大・代替コミュニケーション）を活用した支援方法を知り、授業づくりに生かせるスイッチ等の製作を行う研修	参集	32	1	7/25	県総合教育センター	履歴システム
1535130	発達につまずきのある幼児の理解と対応研修	幼稚園等及び小・義務教育（前期）・特別支援（幼・小学部）学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ	A　教職に必要な素養 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	幼児の言葉によるコミュニケーションや生活・行動等に関する理解と指導の在り方とともに保護者との協力体制の築き方について学び、担当者としての資質及び指導力の向上を図る研修	参集	60	1	8/19	県総合教育センター	履歴システム
1536331	小・中・高等学校等における医療的ケア実践研修―具体的な支援と関係機関との連携の在り方―	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員のうち、医療的ケアに携わっている者、又はこれから携わろうとする者		○	○	○	○	Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 B　学習指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	幼・小・中・高等学校等に在籍する幼児児童生徒の医療的ケアの実際や校内体制づくり、連携について学び、日頃の課題について協議することで、資質や能力の向上を図る研修	参集	30	1	8/19	県総合教育センター	履歴システム
1536332	医師から学ぶ医学的知識研修－病気や発達障害のある子の支援のために－	幼稚園等及び小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員、行政関係職員		○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 B　学習指導に関する実践的指導力 C　生徒指導等に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	病気や発達障害のある幼児児童生徒の指導において、必要とされる医学的な知識等について習得し、それらを生かした指導力の向上を図る研修	オンライン	約200	1	8/1～8/29	動画配信によるオンデマンド研修	履歴システム

４　千葉県子どもと親のサポートセンター　生徒指導・教育相談の研修（希望）

①教育相談部が担当する研修（問合せ先　043－207－6034）

事業番号	研修名	研修対象	育成指標 校・園	育成指標 教	育成指標 養	育成指標 栄	育成指標 幼	ステージ	育成指標の柱	研修概要（目的・内容）	研修形態	予定人数	日数	研修日	研修場所	申込み方法
1633105	教育相談課題別研修１	教育関係者	○	○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 C　生徒指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	（目的） 学校教育に関わる現代的な課題の状況を理解するとともに、それらの対応方法を学び、学校教育相談推進者としての資質の向上を図る研修 （内容） 「グレーゾーンにいる子供たちへの支援」	参集 オンライン	100	1	（集合） 7/28 （オンデマンド） 8/12～8/31	県子どもと親のサポートセンター	履歴システム
1633106	教育相談課題別研修２	教育関係者	○	○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 C　生徒指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	（目的） 学校教育に関わる現代的な課題の状況を理解するとともに、それらの対応方法を学び、学校教育相談推進者としての資質の向上を図る研修 （内容） 「ネットいじめ・ゲーム依存」	参集 オンライン	100	1	（集合） 7/28 （オンデマンド） 8/12～8/31	県子どもと親のサポートセンター	履歴システム
1633107	教育相談課題別研修３	教育関係者	○	○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 C　生徒指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	（目的） 学校教育に関わる現代的な課題の状況を理解するとともに、それらの対応方法を学び、学校教育相談推進者としての資質の向上を図る研修 （内容） 「ヤングケアラー・子供の貧困の現状と支援」	参集 オンライン	100	1	（集合） 7/29 （オンデマンド） 8/12～8/31	県子どもと親のサポートセンター	履歴システム
1633108	教育相談課題別研修４	教育関係者	○	○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 C　生徒指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	（目的） 学校教育に関わる現代的な課題の状況を理解するとともに、それらの対応方法を学び、学校教育相談推進者としての資質の向上を図る研修 （内容） 「SOSの出し方と教師が知っておきたい子供の自殺予防教育」	参集 オンライン	100	1	（集合） 7/29 （オンデマンド） 8/12～8/31	県子どもと親のサポートセンター	履歴システム
1633109	教育相談課題別研修５	教育関係者	○	○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 C　生徒指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	（目的） 学校教育に関わる現代的な課題の状況を理解するとともに、それらの対応方法を学び、学校教育相談推進者としての資質の向上を図る研修 （内容） 「不登校支援について」	参集 オンライン	100	1	（集合） 7/30 （オンデマンド） 8/12～8/31	県子どもと親のサポートセンター	履歴システム
1633110	教育相談課題別研修６	教育関係者	○	○	○	○	○	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	A　教職に必要な素養 C　生徒指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	（目的） 学校教育に関わる現代的な課題の状況を理解するとともに、それらの対応方法を学び、学校教育相談推進者としての資質の向上を図る研修 （内容） 「小児科臨床の現場から見た児童虐待の現状と対策」	参集 オンライン	100	1	（集合） 7/30 （オンデマンド） 8/12～8/31	県子どもと親のサポートセンター	履歴システム

千葉県総合教育センター
千葉県子どもと親のサポートセンター

No.3幼児教育

自ら学び続ける教職員のために
令和７年度研修事業一覧

令和７年３月１７日現在

○研修種別：休日開放事業

１　休日開放事業　①特別支援教育部が担当する研修（問合せ先　043－207－6023）

事業番号	研修名	研修対象	育成指標 区・市	教	養	栄	幼	ステージ	育成指標の柱	研修概要（目的・内容）	研修形態	予定人数	日数	研修日	研修場所	申込み方法
1546301	休日開放事業「知りたい・学びたい発達障害」土曜塾	教育関係者、県民		○	○	○	○	I II III	C　生徒指導等に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	発達障害のある幼児児童生徒への関わりについての専門的な知識に触れ、資質及び指導力等の向上を図る研修	参集 オン ライン	約130	1	6/14	県総合教育センター	履歴システム
1546302	休日開放事業／教育講演会	教育関係者、県民		○	○	○	○	I II III	A　教職に必要な素養 C　生徒指導等に関する実践的指導力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	障害の有無に関わらず、誰もがその能力を発揮し、共生社会の一員として共に認め合い、支え合い、誇りをもって生きられる社会の構築を目指して、その現状と　課題について学ぶ研修	参集 オン ライン	約130	1	11/22	県総合教育センター	履歴システム

２　千葉県子どもと親のサポートセンター　教育相談の研修（休日開放）

①教育相談部が担当する研修（問合せ先　043－207－6034）

事業番号	研修名	研修対象	育成指標 区・市	教	養	栄	幼	ステージ	育成指標の柱	研修概要（目的・内容）	研修形態	予定人数	日数	研修日	研修場所	申込み方法
1646301	休日開放事業　教育相談講演会１	県民、教育関係者	○	○	○	○	○	I II III	A　教職に必要な素養 C　生徒指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	(目的) 県民及び教育関係者に対して、教育相談に関する様々な内容を学ぶ機会を提供することにより、子供たちのより良い成長を支える一助とする研修 (内容) 「子供のストレスの理解と対応―家庭と学校でできること―」	参集 オン ライン	200	1	6/14	県総合教育センター	履歴システム 電話 FAX メール
1646302	休日開放事業　教育相談講演会２	県民、教育関係者	○	○	○	○	○	I II III	A　教職に必要な素養 C　生徒指導に関する実践的指導力 D　チーム学校を支える資質能力 E　特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	(目的) 県民及び教育関係者に対して、教育相談に関する様々な内容を学ぶ機会を提供することにより、子供たちのより良い成長を支える一助とする研修 (内容) 「児童相談所の実践から学ぶ子供とのコミュニケーション」	参集 オン ライン	200	1	11/22	県総合教育センター	履歴システム 電話 FAX メール

千葉県総合教育センター
千葉県子どもと親のサポートセンター